

動物農場

権力と大衆操作

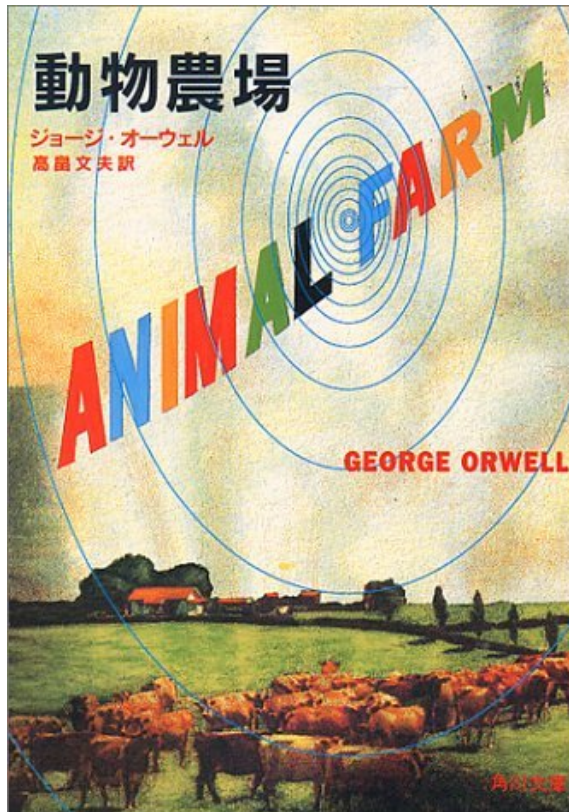
ジョージ・オーウェル 著, 高畠 文夫 訳

『動物農場』角川文庫, 1995 より

札幌たのしい授業・研究サークル用レポート

2005.10.22

丸山秀一



ある、おとぎ話

莊園農場のある夜、豚のメジャーじいさんは、農場の動物たちに、彼が見た「人間が追放された後の世界」という不思議な夢の話をお聞かせしました。彼は動物たちがおかれている悲惨な状態を話し、「人間こそ、我々の唯一の真の敵である。人間をこの農場より追放せよ。しかれば、飢餓と過労の根源は、永久に取り除かれるであろう。すべての人間は敵である。すべての動物は同志である」と訴えたのです。

【問題】

ちょっとそのときネズミが現れて、集会は中断しました。さて動物たちは、ネズミのような野生動物も「同志」と認めたと思いますか。

予想

- ア 同志
- イ 敵
- ウ そのほか

「イギリスのけだものたち」

投票により、圧倒的多数をもって「野生動物も同志である」と承認されました。反対票は、犬と猫によってなされたものでした。

そしてメジャーじいさんは、昔からの「イギリスのけだものたち」という歌を、みんなに紹介し。動物たちはその歌を熱狂的に支持するのです。

イギリス・アイルランド・
万国のけだものたちよ・
きけ・輝く未来の
うれしいわが知らせを。

暴虐人間の破滅の 때가
やがてやってくるよ。
イギリスの実りの野辺が
けだものばかりになるときが。

鼻輪は鼻から・引き具は背から
消えてしまうよ・その日には。
はみも・拍車も・永久に錆び・
むごい鞭の音も絶える。

想像もできないほどの富が
我らのものになるよ・その日には。
小麦に大麦・麦に干し草・
クローバーに豆にトウシヤなどが。

イギリスの野は輝き・
水はさらに澄み渡るよ・その日には。
風もさやかに吹き渡る・
自由解放のその日には。

その日の前に死ぬかも知れぬが・
その日のために準備をするのだ。
雌牛も馬も・ガチョウも七面鳥も・
自由のために励むのだ。

イギリス・アイルランド・
万国のけたものたちよ・
ひろめよ・輝く未来の・
たのしむわが知らせを。

【問題】

その三日後にメジャーじいさんは亡くなりました。しかし反乱の準備は、豚を中心に進められ、その中でもスノーボールとナポレオンが中心でした。彼らは動物主義という思想体系を作り上げ、ほかの動物たちを教育していきました。

さて彼らが一番説得に苦労したのは、どのような考えだったでしょうか。

予想

- ア. 人間に従うのは義務であり、養ってくれる人間に感謝しなければならない
- イ. 我々が死んだ後に起こる革命のことには関係がない
- ウ. 革命が必然的に起こるなら、我々は努力する必要がない
- エ. 動物は、みな死ぬと天国に行けるのだから現世での革命は不要

動物農場

農場主ジョーンズお気に入りの飼鳥のモーゼスは、「動物は死ぬと、みな氷砂糖山に行く。そこでは毎日が日曜日で、1年中クローバーが咲き乱れていて、生け垣には角砂糖がなっている」と主張し、働こうとはしませんでした。そして、少なくない動物たちも、「氷砂糖山」を信じていました。豚たちが一番説得に苦労したのが、この宗教だったわけです。

そのうち、ジョーンズは酒におぼれて、動物たちにエサをやるのも忘れるようになりました。我慢できなくなった動物たちが、自ら飼料倉庫でエサを食べていると、ジョーンズと作男たちが鞭を持って駆けつけてきました。このとき、動物たちは一斉に人間に対して反抗を始め、人間たちを農場から追い出すことに成功しました。

豚たちは、字を学習してきたことを打ち明け、前足に器用に筆を挟んで、荘園農場の看板を「動物農場」に書き換えたのでした。

【問題】

動物たちは、ムチや鎖のようなジョーンズのいまわしい支配の名残をすべて井戸に投げ入れたり、燃やしたりしました。

では、ジョーンズの家を、どうしたとおもいますか。

予想

- ア 記念館として保存した
- イ 燃やした
- ウ 動物たちの家にした
- エ そのほか

七戒

動物たちは満場一致で「ジョーンズの家を博物館として保存する。動物は、だれもそこに住んではならない」と議決しました。

スノーボールとナポレオンは「動物主義を7つの戒律にまとめた」として、納屋の壁に「七戒」を書き付けました。

- 1 いやしくも、二本の足で歩くものは、みな敵である
- 2 いやしくも4本の足で歩くもの、もしくは翼を持っているものは、すべて味方である。
- 3 およそ動物たるものは、衣服を身につけないこと。
- 4 およそ動物たるものは、ベッドで眠らないこと。
- 5 およそ動物たるものは、酒を飲まないこと。
- 6 およそ動物たるものは、ほかの動物を殺害しないこと。
- 7 すべての動物は平等である。

そして、動物たちは一致団結して作物の刈り入れに励みます。なかでも馬のボクサーは、いつもより早起きして労働に励みました。彼の口癖は「わしがもっと働けばよいのだ」でした。そして、作物を人間に搾取されない分だけ、確実に動物たちへの分配量も以前より増えたのでした。

【質問】

動物農場では、毎週日曜日が休みで、集会が行われて旗が掲げられます。その旗は「未来の動物共和国」を象徴しているそうなのですが、あなたはどんな旗だと思えますか。

動物共和国の旗
その旗は「緑色の地に白く蹄と角を描いたもの」で、「イギリスの緑の野と人類が完全に打倒されたあかつきに誕生する未来の動物共和国を象徴する」というものでした。

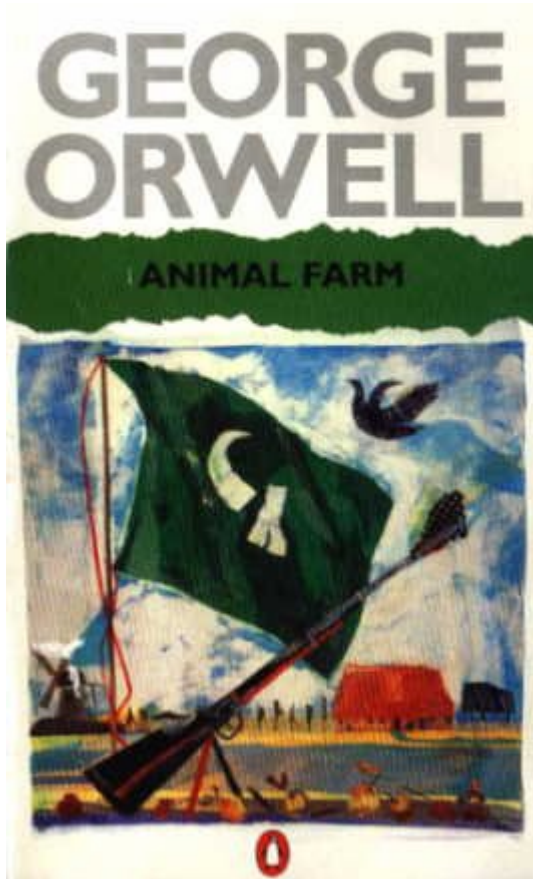
【問題】

動物たちは、みな字を学習しましたが、多くの動物たちは字を覚えることはできませんでした。そこでスノーボールは、

「七戒」ほ短くして、たったひとつの格言としました。それはなんだと思いますか。

予想

- ア 動物は平等，人間は敵
- イ 豚が正しい，人間は敵
- ウ 四本足は良い，二本足は悪い
- エ そのほか



スローガン

短縮したスローガンは「四本足は良い，二本足は悪い」でした。これはすべての動物がおぼえることが出来，納屋に書かれた「七戒」の上に，ひときわ大きな字で書き加えられました。このスローガンは，特に羊たちに好評で，羊たちは年間年中，それを唱えているのであります。

【問題】

人間が居なくなると困った問題が起こってきましたが，そのひとつが，牛の乳搾りの問題でした。三頭の雌牛は，乳がはれて苦しがっていましたが，それをどう解決したと思いますか。

予想

- ア 乳搾りの人間をやとった
- イ 動物たちで乳搾りをした
- ウ 人間に乳搾りをさせて，その牛乳を売った
- エ そのほか

乳搾り

豚の前足は乳搾りに適していたので、ナポレオンたちは、乳搾りをしました。集めた牛乳は、ほかの動物たちには内緒で、豚たちだけでエサに混ぜて食べていたのです。

また、ある日、風で落ちたリンゴを「豚が食べるから、集めるように」という指令が出されました。

【問題】

豚が牛乳やリンゴを独占することに、ほかの動物たちから反発がありました。そこで豚たちは演説のうまいスクイーラーに、ほかの動物たちを説得させました。さて、スクイーラーは、なんと行って、ほかの動物たちを説得したのだと思いますか。

予想

- ア 百人の一步よりも、一人の百歩
- イ 食糧危機に備えて貯蔵
- ウ ジョーンズが復帰するのを防ぐため
- エ 指導者には指導者の食べ物が必要

プロパガンダ

スクイーラーは「我々は牛乳もリンゴも嫌いだが、科学が証明するように、牛乳とリンゴは豚の健康に必要なのだ。我々は、日々同志諸君の福祉に心を砕いている。したがって、牛乳とリンゴを食べることも、ひとえに同志諸君のためなのだ。もし、我々がその義務を果たすことができなくなったら、あのジョーンズが戻ってくるのだぞ。それでもいいのか」と訴えました。とにかく動物たちにとって、ジョーンズが戻ってくることだけは避けたかったので、以来、豚が牛乳とリンゴを独占することを認めたのでした。

【問題】

革命の4か月あと、ジョーンズは銃を手に7名で農場を取り戻すために、動物農場に乗り込みました。

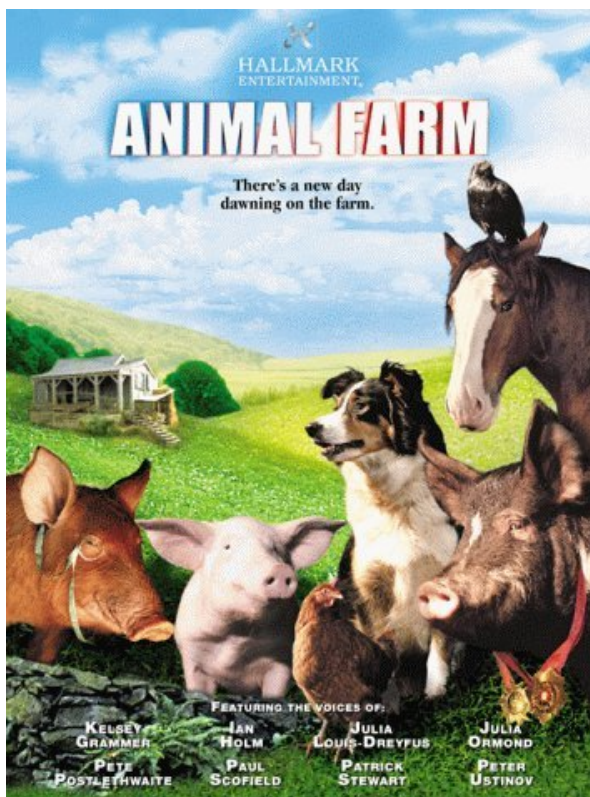
では、その結果、人間たちは農場の奪還に成功したと思いますか。

予想

- ア 農場を奪還した
- イ 和平条約を結んだ
- ウ 撤退した

牛小屋の戦い

人間たちに対して、動物たちは敢然と立ち向かいました。スノーボールは、銃弾を身体に受けながらも、ジョーンズに体当たりしました。ボクサーは、蹄の一撃で人間を倒しました。てっきり人間を殺してしまったと思ったボクサーは、「殺すつもりはなかったんだ・・・。わしは、たとえ人間の命であっても、奪いたくはないのだ」と泣きました。そんな彼に、血を滴らせながらスノーボールは「戦争は戦争だ。良い人間はただひとつ、死んだ人間だ」と語るのです。



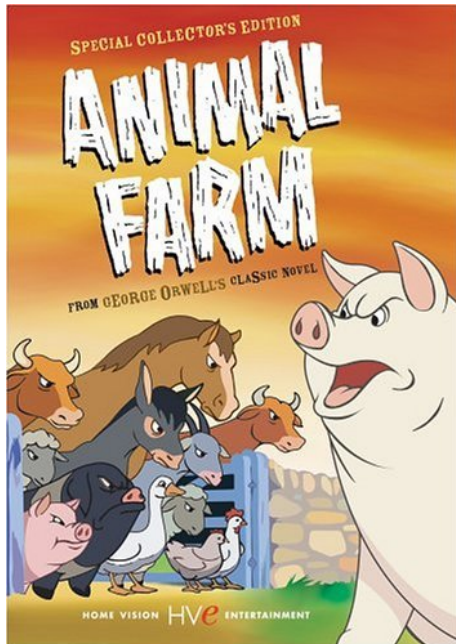
動物たちは「動物英雄勲章」を設定し、「功一級勲章」をボクサーとスノーボールに授け、「功二級勲章」を「戦死」した羊に授けました。

【問題】

動物農場は、豚が経営方針を決定し、それを過半数の賛成により承認することで運営されていました。しかし、スノーボールとナポレオンは、いつも意見が対立していました。スノーボールは、ジョージが残っていた書物を読みあさり、農場経営について、理路整然とたくさんの提案をしていきましたが、そのことごとくにナポレオンは反対しました。では、ナポレオンはどんな方法で対抗したと思いますか。

予想

- ア 「人間の知識を使ってはいけない」
- イ 人間の襲撃の危険性を主張
- ウ 支持者による議事妨害
- エ そのほか



議事妨害

会議では、スノーボールは演説により多数の支持を集めたのですが、肝心なところになるとナポレオンは、羊たちを使って「四本足は良い、二本足は悪い」のシュピレヒコールをさせて、会議を中断させるのでした。

スノーボールは、「風車建設」を提案しました。それは、風車によって電力を起こして、照明や暖房に使うだけでなく、電動機械を動かして労働を大幅に少なくさせるというものでした。しかし、風車の建設には1年がかかると見積もられていました。ナポレオンは「現在必要なのは、食糧の増産であり、風車建設などに労力を分けていたら餓死してしまう。それに農場防衛を優先させるべき」と訴えました。

【問題】

風車建設問題は、いよいよ総会で採決されることとなりました。さて、勝ったのはどちらだと思いますか。

予想

- ア スノーボール
- イ ナポレオン
- ウ そのほか

クーデター

スノーボールの描く動物農場の未来に動物たちは魅せられており、評決の結果は明らかでした。評決に入ろうとするとき、ナポレオンの合図と共に、9匹の首輪をつけた犬が、スノーボールに襲いかかりました。スノーボールは一目散に逃げて、農場から居なくなってしまいました。この犬たちは、ナポレオンが子犬の時から、独自に育てていたものでした。

ナポレオンは「今後総会は取りやめとする。農場運営に関する一切のことは、自分が議長を務める特別委員会で決定する。特別委員会は、秘密会議とし、諸君らには決定事項を伝えるだけだ」と宣言しました。

これに対して何匹かの豚が抗議しましたが、すぐに犬たちによっておとなしくさせられました。

【問題】

しかし、このクーデターをすべての動物たちが納得したわけではありませんでした。そこでナポレオンはスクイーラーを派遣しました。さてスクイーラーは、どのように説いて、動物たちを納得させたと思いますか。

予想

- ア スノーボールは裏切り者だった
- イ ナポレオンには深い考えがある
- ウ ジョーンズが戻った来たらどうする
- エ そのほか

恐怖

「すべての動物は平等であるということを、ナポレオン以上に確信しているひとはいない。しかし、だ、諸君はどうかすると、間違った取り決めをしてしまうことがある。風車などという戯言を唱えていたスノーボールを指導者に選んでいたら、もし、そうなったら、我々はどうなるのだ。ジョーンズが戻ってくることになったら、どうするのだ」スクィーラーは、そう説得して、動物たちは「ジョーンズの復帰を阻止するためなら仕方がない」と思うのでした。ボクサーも、「ナポレオンはいつも正しい」と思うことにしました。

【問題】

ナポレオンは「風車の建設を始める。これは重労働で2年はかかる。その間には配給も切りつめなければならぬだろう」と命令しました。

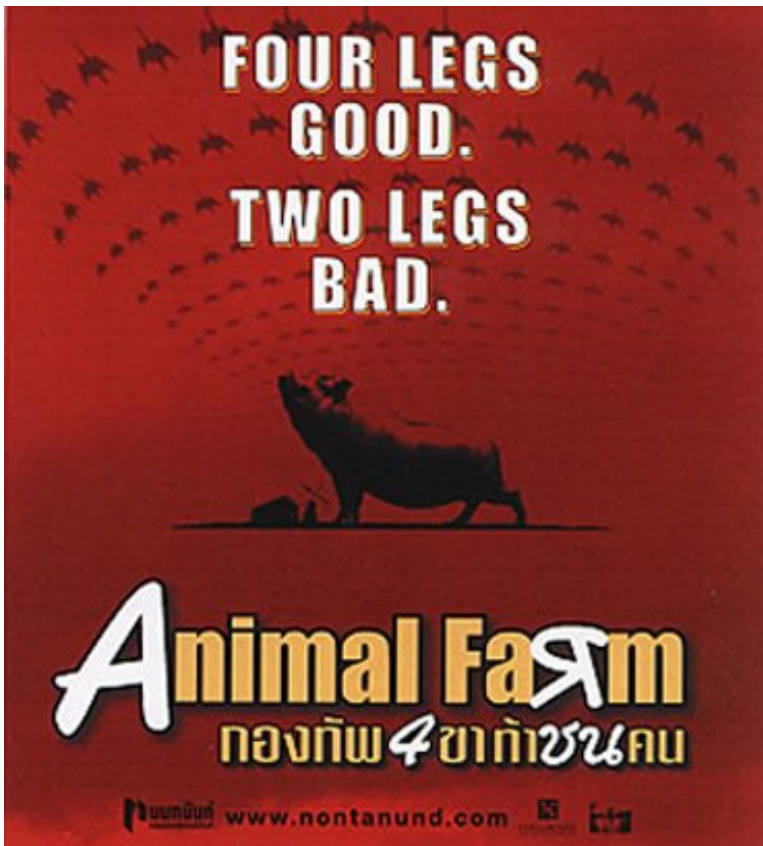
しかし、風車建設に一貫して反対していたのがナポレオンでしたから、動物たちは納得しませんでした。ではスクィーラーは、何と言って動物たちを説得したと思いますか。

予想

- ア ジョーンズが戻ってきたらどうする
- イ スノーボールがナポレオンの風車建設案を盗んだ
- ウ すべてはスノーボール追放のための策略だった
- エ そのほか

威嚇

スクィーラーは「元々、風車建設案はナポレオンが考えたものだった。しかし、スノーボール追放のため、ナポレオンは風車建設に反対した。もうスノーボールは、いないから建設を推進する。すべては駆け引きだった」と述べました。動物たちには、よく意味が分かりませんでした。スクィーラーお供の犬たちがうなり声を上げたため、みんなおとなしくその説明を受け入れることにしました。



それからというもの、動物たちは風車建設のため奴隷のように働きました。しかし、どんな苦勞も「それが人間たちのためではなく、自分たちとその子孫のためであること」がわかっていたので、どんな苦勞も犠牲も惜しみませんでした。特にボクサーは、休み返上で働き続けました。

【問題】

ナポレオンは「必要な資材を入手するため、近隣の農場と取引するようになった。仲介人として弁護士を雇う」と発表し、「今後、カネが必要なときは鶏卵を売る。メンドリ諸君は、風車建設に対する特別な貢献として、喜んでこの犠牲を支払わなければならない」と述べました。

しかしこのことは、ジョーンズ追放後の総会で「人間と一切関わりを持たない。絶対に取引しない。絶対にカネを使わない」と決めたことに反していました。

それでは、スクイーラーはどのように動物たちを説得したのでしょうか。

予想

- ア ジョーンズが戻ってくることになったらどうする
- イ そんな決議は絶対に採択されなかった
- ウ ナポレオンに深い考えがあつてのこと
- エ そのほか

強い嘘

ナポレオンのその発言に、彼がクーデターを起こしたときにも反対した4匹の豚が抗議しました。しかし、すぐにどう猛な犬たちのうなり声に沈黙させられました。

スクィーラーは、「そんな決議は絶対に可決されなかったし、提案されたこともない。それは全くの空想で、スノーボールのデマなのかも知れない。同志諸君は、その記憶が絶対に夢ではなかったと断言できるかね。どこかに記録があるかね」と強く主張して、みんなを納得させました。

【問題】

やがてナポレオンはジョーンズの家をすみかとして使うようになりました。動物たちは、それを禁止する取り決めがあったような気がしましたが、またスクィーラーに言いくるめられました。しかし、ナポレオンたちがベッドで寝ているのを知ったとき、それが「七戒」にあったような気がするのです。さて、この件を動物たちに納得させるために、ナポレオンたちはどうしたと思いますか。

予想

- ア 「豚は特別である」とした
- イ 「七戒」を書き換えた
- ウ 「七戒」を廃止した
- エ そのほか

七戒

納得のいかない動物たちが納屋に書かれた「七戒」を見にいくと、そこには、記憶にはない文言が加えられていました。

「4 およそ動物たるものは、ベッドで眠らないこと」

だと思っていたのが

「4 およそ動物たるものは、ベッドで眠らないこと、シーツを使って」

となっていたのです。

スクイラーは「厩の中にわらを積んだ寢床でもそれはベッドだ。戒律は人間の生産物であるシーツを使うのを禁止しているのだ。もちろん我々はシーツを使っていない。我々は頭脳能動をしているのだから、寝心地の良いベッドが必要だ。もし我々が義務を果たせなくなって、ジョーンズが戻った来たほうがいいと願うようなひとは、いるはずがない」と解説しました。

そして同様の理由で「豚はほかの動物たちよりも1時間遅く起きること」も何の反対もなく承認されました。

【問題】

1年がたって、風車が半分完成したとき、台風によって建設中の風車はめちゃくちゃに壊されてしまいました。悲観に暮れる動物たちを前にして、ナポレオンはどうしたと思いますか。

予想

ア もう一度やり直そう

イ これはテロ攻撃だ

ウ 風車よりもよっと良いものをつくろう

エ そのほか

「テロ」

ナポレオンは、あたりをカギ回る仕草をした後、「誰が我々の風車を壊したか？それは、スノーボールだ」と叫び、スノーボールに死刑の宣告をしました。動物たちが怒りの感情に包まれている中、ナポレオンは「卑劣な裏切り者に、我々の計画を打ち壊すことができないことを教えてやるのだ。さあ、風車を再建する。風車バンザイ。動物農場バンザイ」と叫ぶのであります。

【問題】

今度の風車は壁の厚さを数倍のものにしたため、さらに作業は過酷なものとなり、食糧事情は悪くなり、飢餓寸前となりました。そこでナポレオンは、孵化させるための卵を抱いていた雌鳥たちに、卵の供出を命じました。雌鳥たちは、抗議のため、産んだ卵をすぐに割ってしまうという作戦に出ました。

では、ナポレオンはどうしたと思いますか。

予想

- ア 処刑した
- イ 食べ物を与えなかった
- ウ 供出量を減らした
- エ そのほか

反乱

雌鳥たちの反乱に際し、ナポレオンはすぐさま、エサの配給を停止し、「一粒でもエサを与えたものは死刑にする」と宣言して、犬たちを監視につかせました。雌鳥たちは五日間頑張って、六日目に降伏しました。その間に9羽のメンドリが餓死しましたが、死因は「伝染病による病死」と発表され、タマゴが人間界へ運ばれるようになりました。

【問題】

雌鳥たちの反乱は抑えたものの、続く反乱を未然に防ぐため、ナポレオンはどうしたとおもいますか。

予想

- ア 社会福祉政策を取った
- イ 隣組制度を作った
- ウ 外敵の脅威を訴えた
- エ そのほか

外敵の脅威

それからというもの、動物農場には「スノーボールがたびたび動物農園に侵入しては、悪事をはたらいている」というウワサが飛び交いました。ナポレオンは、動物農園を隅々まで点検し、「あちこちにスノーボールが侵入した形跡がある」と発表しました。動物たちは疑心暗鬼となり、何か悪いことがあると、きまって「スノーボールのしわざだ」と言うようになりました。雌牛などは、「私たちが寝ている間に、スノーボールが牛乳をしぼっていった」と証言するのです。

スクイラーは、「恐ろしいことが明らかになりました。スノーボールは、隣の農場主のフレデリックと共謀して、我々の農場を襲撃して奪い取ろうとしています。さらに、スノーボールは、我々がついさっき見つけた彼の文書から、最初からジョーンズとぐる



だったのです。彼は 牛小屋の戦い のとき、この農場を攻め滅ぼすつもりだったのです」と訴えました。

【問題】

しかし「牛小屋の戦い」のとき、スノーボールは勇敢に戦って、勲章まで授与されたことを、動物たちはおぼえていました。ボクサーでさえ「スノーボールが最初からスパイだったとは信じられない」という始末でした。

では、動物たちをスクイーラーは、どうやって説得したのでしょうか。

予想

- ア ナポレオンが言っているのだから間違いない
- イ ジョーンズが戻ってきてもいいのか
- ウ みんなの記憶が操作されている
- エ そのほか

「ナポレオンは正しい」

スクイラーは、その戦いの様子を事細かに再現して聞かせました。「スノーボールはジョーンズにわざと撃たれた。そして退却の合図をする手はずだったのだ。そのときナポレオンが くたばれ、人間ども と叫んで、ジョーンズにかみついたからこそ、人間どもを撤退させることができたのだ。同志よ、いくらなんでもその時のことは、覚えているだろう」と説きました。

しかしボクサーは、相変わらず「いや、あのときはスノーボールは立派な同志だったと信じている」と答えました。そこでスクイラーは、「我らが指導者、同志ナポレオンは、絶対的にこうしているのだ。同志諸君、絶対的にだ。いいか、スノーボールは、そもそもの初めから、ジョーンズの手先だった」と説きました。そこで「ナポレオンは正しい」が口癖のボクサーは、納得するのでした。

【問題】

なんとか事を収めたものの、「スノーボールの恐怖作戦」の前に、ナポレオンは、すべきことがあるのに気がつきました。さて、それは何だったでしょうか。

予想

- ア 肅正
- イ テロ事件の捏造
- ウ ナポレオンの英雄的行動の捏造
- エ そのほか

肅正

ある日「動物たちはすべて中庭に集合」という命令が出ました。そこには、自分で授けたふたつの勲章をぶら下げたナポレオンと、犬に耳を加えられている四匹の豚がいました。彼らは、いつもナポレオンに批判的だった豚です。突然三匹の犬がボクサーに飛びかかりましたが、ボクサーは難なく撃退し、一匹を蹄で押さえつけました。指示を請うボクサーの目に、ナポレオンは「放してやれ」と言い、四匹の豚に対して「罪の告白」を求めました。四匹の豚は、「スノーボールの手先だった」ことを認めるやいなや、犬にかみ殺されました。

「他に告白しなければならぬものはないか」とナポレオンが問うと、次々に動物たちが告白して、処刑されていきました。反乱の首謀者だったメンドリは「夢でスノーボールにそそのかされた」と告白し、ガチョウは「取り入れのときに、小麦をくすねた」と告白、羊は「スノーボールに池におしっこをしるとそそのかされた」と告白し、みんなすぐさまかみ殺されていきました。

ボクサーは「どうしてこんなことになるのか。きっとわしらにいけないところがあったのだろう。わしは、もっと働かなければ」と作業場に向かいましたが、他の動物たちは、みな固まって身体を寄せ合っていました。みな「これが目指していた動物農園だったのか」と思っていたのです。そしてみなで「イギリスのけだものたち」を歌い始めました。

そのとき、スクィーラーがやってきて「その歌は禁止になった」と告げました。「もはや反乱は成功したから、反乱の歌は必要ない」と言ったのです。

やがて動物農場には、新しい歌が作られました。

動物農場よ・

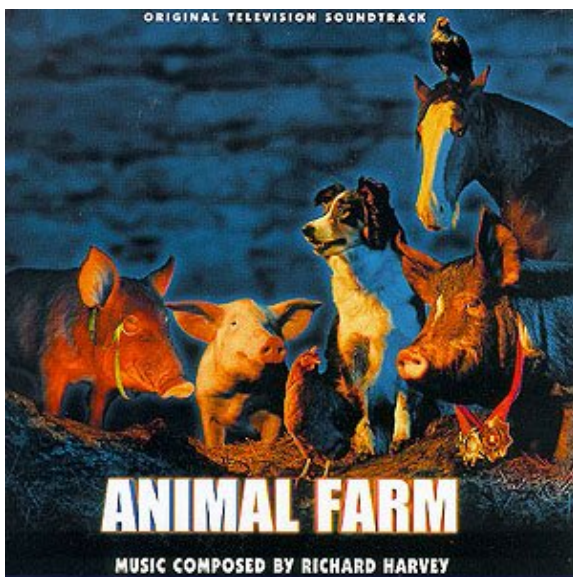
わがために・憂き目を見ること・なかれかし

【問題】

やがて動物たちは「処刑は七戒に反するのではないか」と思い始めました。そこで納屋に七戒を見にいってみると・・・。

予想

- ア 七戒はなくなっていた
- イ まったく別のものに変わっていた
- ウ 記憶と一部が違っていた
- エ そのほか



付け加えられた七戒

そこには、彼らが記憶にない言葉がある七戒があり、

6 およそ動物たるものは、ほかの動物を殺害しないこと、理由もなく。

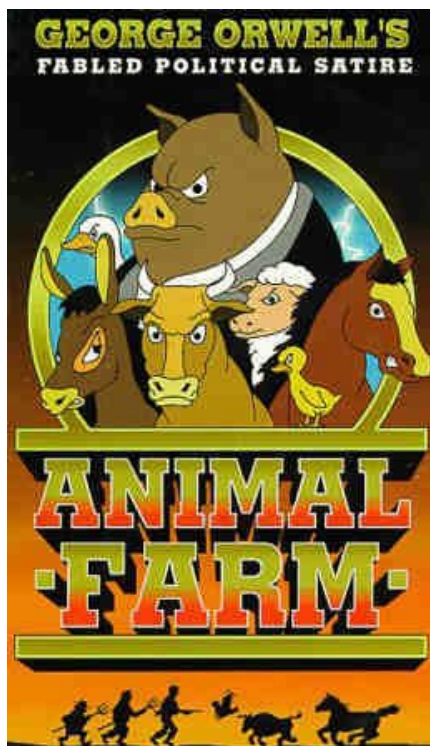
となっていました。これで動物たちは戒律が破られたわけではないことに安心して、辛い労働に励むのでした。

【問題】

粛正の後も、食糧事情はいっこうに良くなりませんでした。では、粛正によって、動物たちはよりナポレオンに従うようになったと思いますか。

予想

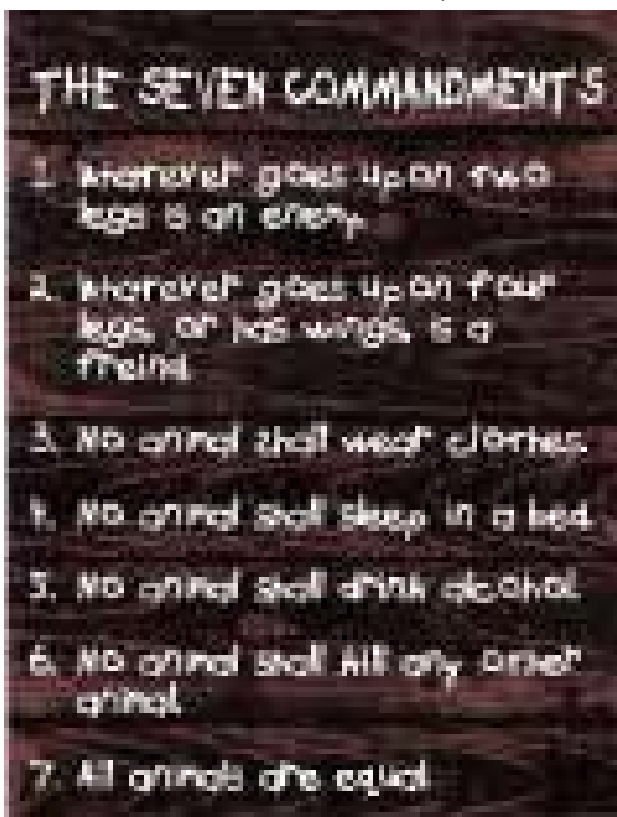
- ア 従うようになった
- イ 変わらなかった
- ウ 反乱が起きた



指導者ナポレオン

食糧事情が悪くても、スクィーラーはいつも「ジョーンズ時代よりも飛躍的に向上した食料生産高」について言い続け、ナポレオンの深い慈愛について、涙ながらに語り続けました。ナポレオンは「我らが指導者、同志ナポレオン」と呼ばれるようになり、ほかの豚たちは「すべての動物の父」「人類の恐怖」「羊小屋の守護者」「アヒルの子どもたちの友」などという称号を工夫していました。

そして、そのうちになんでも良いことがあると、「すべてナポレオンのおかげ」と動物たちは思うようになりました。メンドリは「我らが指導者、同志ナポレオンのおかげで、あたしは先週、5つも卵を産んだわよ」という具合です。そして「同志ナポレオン」という詩が作ら



れ、納屋の七戒が書かれた反対側の壁に、ナポレオンの横顔と共に、書き付けられました。

【問題】

動物農場には、かつてジョーンズが林を切り開いたときの膨大な材木がありました。ナポレオンは、それを隣の農場主ビルキントンに売却すると発表しました。スノーボールは、反対側の隣のフレデリックの農場にいるらしく、三羽の雌鳥が「スノーボールにそそのかされて、ナポレオンの暗殺をたくらんでいた」と告白しました。

風車の完成が近づき、フレデリックは銃をもった20名で襲撃の計画を立てているという噂が流れました。またフレデリックの農場では、動物たちが言語道断の虐待を受けていると言われていました。

このような噂を受けて、動物たちはどうしたと思いますか。

予想

- ア フレデリック農場の解放を求めた
- イ 守りを固めようとした
- ウ ビルキントンとの友好を深めようとした
- エ そのほか

敵国

動物たちは、同胞が虐待されていることに怒り狂い、フレデリック農場の解放をナポレオンに求めました。スクィーラーは「向こう見ずな行動は避けて、同志ナポレオンの計画を信頼するように」とだけ答えていました。

ナポレオンは「フレデリックの悪党と取引しようと思ったことは一度もない」として、これまでのスローガン「人間を殺せ」を「フレデリックを殺せ」に変更しました。さらにスノーボールにそそのかされて陰謀に加担したガチョウが罪を告白して自害しました。スクィーラーは、重大な事実を明らかにしました。スノーボールはけっして「動物英雄勲章」をもらってはいなかったのです。それは、スノーボールが広めたデマだったのです。

やがて風車が完成し、ナポレオンは「材木はフレデリックに売却した」と発表し、スローガンを「フレデリックを殺せ」から「ビルキントンを殺せ」に変更しました。また、スノーボールは、一度もフレデリックのところに行ったことはなく、ずっとビルキントンのところにいたらしいことも明らかにされました。スクィーラーによると、ナポレオンのこの周到な計画により、高値で材木を売りつけることに成功したそうです。動物たちは、人間を手玉に取るナポレオンの才能に、ただただ驚嘆するだけでした。

ナポレオンは獲得した紙幣を公開し、動物たちは、それを嫌と
言うほどながめました。

【問題】

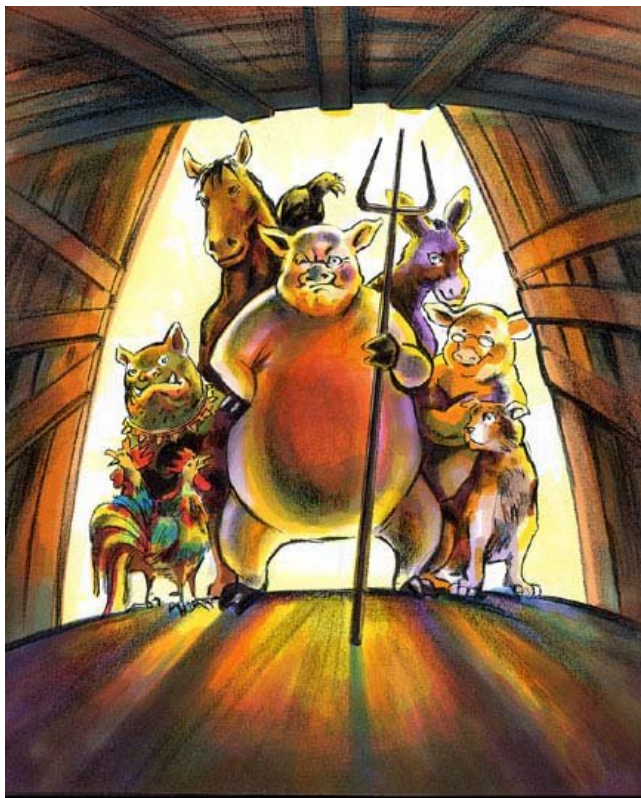
しかしナポレオンがフレデリックから受け取った紙幣は偽札で

した。そしてフレデリックが 6 丁の銃を持った 15 人で、襲撃してきました。

動物たちは、今度も撃退に成功したでしょうか。

予想

- ア なんなく撃退した
- イ 壊滅的な打撃を受けた
- ウ スノーボールが救援に来た
- エ ビルキントンが救援に来た
- オ 全滅した

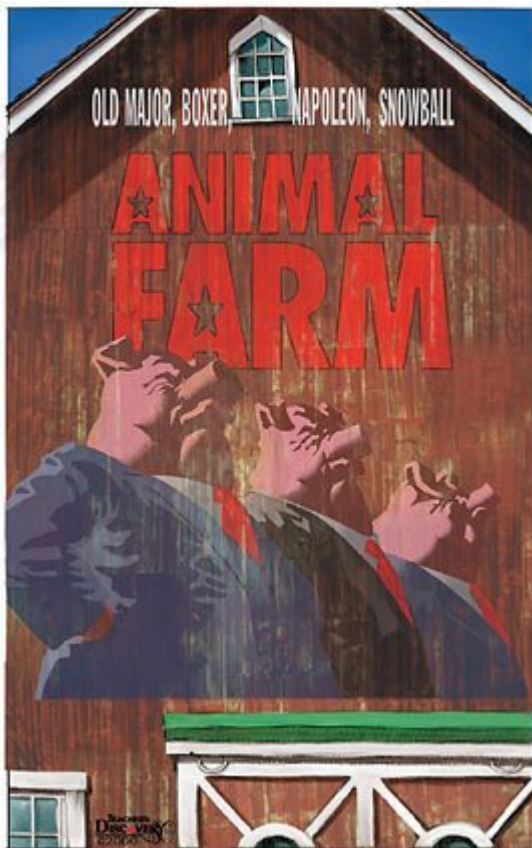


「なんの勝利か」

人間たちは射程距離に入るやいなや銃を発射し、動物たちはなんなく撃退されてしまいました。ナポレオンはビルキントンに援助を求めましたが、その返事は「いい気味だ、ざまあみろ」でした。しかし、風車が人間たちによって爆破されたとき、動物たちは、怒りに身を任せて一斉に人間たちに襲いかかりました。またも人間を撃退したと言っても、動物たちは戦死者も少なくなく、無傷のものは皆無でした。勝利を祝ってはしゃぎまわるスクイ

ラーに、12発の銃弾を受けたボクサーは「なんの勝利かね」と尋ねるのでした。

ナポレオンはこの戦いを「風車の戦い」と命名し、緑旗勲章を制定して、自分に授与しました。



【問題】

豚たちが住居の地下倉庫にウィスキー一箱を見つけた、次の日、スクイラーは、病人のような足取りで出てきて、「同志ナポレオンが死にかかっている。彼の最後の命令は 酒を飲んだものは死刑に処す だ」と告げました。

スノーボールが毒殺を凶ったという噂が出て、動物たちは真剣に心配しました。しかし、その翌日にはナポレオンは完全に回復し、「醸造と蒸留の本を買ってくるように」と弁護士に命じていました。

動物たちは、酒についての戒律があったような気がして、「七戒」が書いてある壁を見にいきました。戒律はどうなっていたのでしょうか。

予想

- ア 七戒はなくなっていた
- イ 一部変更されていた
- ウ 「豚は特別である」となっていた
- エ そのほか

付け加えられた言葉

動物たちは

5 およそ動物たるものは、酒を飲まないこと。

だと思っていた戒律が、

5 およそ動物たるものは、酒を飲まないこと、過度に。

だったことに気がつくのです。

ナポレオンは、これまで引退した動物たちが余生を送る場所として保留されていた牧場に、大麦を植えるように命じました。

これまでまだ誰も引退した動物はいませんでした。来年の夏には、ボクサーが引退し、年金生活を送ることを彼はたのしみにしていました。

風車建設が始まることで、食糧事情はさらに悪化しました。豚と犬を除いて、配給量が「再調整」されて、減らされました。「食糧の配給を厳格に平等にやるのは、動物主義の原則に反する」からだそうです。

ナポレオンが、四頭の雌豚に31匹の子豚を生ませて、「子豚たちの教室を建築する」と命令して、さらに食糧事情は悪くなりました。子豚は、ほかの動物たちと遊ばないようにしつけられ、道で豚と他の動物が出会ったときは、ほかの動物が道を譲らねばならないことも決められました。

スクイーラーは、「今がジョーンズ時代と比べてどんなに素晴らしいか」を力説し、動物たちはそれを信じました。飢餓すれすれの状態でしたが、たしかに「今は自由なんだ」と思ったのです。だから、ナポレオンが命ずる「自主的デモ行進」にも「同志ナポレオン、万歳！」という言葉の入った、農場旗とともに率先して参加しました。みんな「自分たちは、今は自由になったのだ」と

実感したかったのです。

そして、動物農場は共和国宣言をして、初代大統領にナポレオンが 100%の得票で選ばれました。その日、スノーボールについて新たな事実が明らかにされました。牛小屋の戦いで彼は「人間万歳」と叫んで、我々に突っ込んできたこと、彼が受けた傷は、ナポレオンによるものだったということでした。

【問題】

数年ぶりにカラスのモーゼスが動物農場に戻ってきて、また「氷砂糖山」の布教を開始しました。そして、ほとんどの動物が彼の言うことを真に受けました。では、ナポレオンたちは、モーゼスをどう扱ったと思いますか。

予想

- ア 異端分子として排除した
- イ なにもしなかった
- ウ 歓待した

為政者と宗教

豚たちは、「馬鹿馬鹿しい」と誰もモーゼスの話には関心を示しませんでした。それでも、モーゼスは歓待され、農場で暮らすことが許され、毎日ビールも与えられました。

日々の生活に苦しむ民衆が来世での救済を求めることは、為政者にとって都合が良かったからでしょうか。

【問題】

引退をひと月前に控えて、これまで懸命に働いてきたボクサーがとうとう病気で倒れてしまいました。動物たちは懸命に看護しました。

では、ナポレオンはどうしたと思いますか。

予想

- ア 早めに引退させた
- イ スパイとして処刑した
- ウ 屠殺業者に売却した
- エ 動物病院に入院させた

ボクサーの最期

ナポレオンは「ボクサーを市内の病院に入院させる手続きをした」と言いました。そして迎えにきた馬車に、ボクサーは乗せられましたが、その馬車には「屠殺業」と書いてありました。動物たちは、必死でその馬車を追いましたが、馬車は行ってしまいました。

それから三日後、スクイーラーは「あれは医者が屠殺業者から買った馬車だ」として、ボクサーの臨終の様子を事細かに、みんなに話して聞かせました。そこで動物たちも、ボクサーが安らかな死を迎えたことを知って安心しました。

ナポレオンは「豚たちによるボクサー追悼記念宴会が催される」と言いました。宴会当日、木の箱に入ったウイスキーが届けられ、豚たちは大いにたのしみました。臨時収入があったということでした。

【問題】

それからさらに数年がたちました。では、引退年齢に達して、年金生活を始めた動物は、どれぐらいいたと思いますか。

予想

- ア 豚と犬だけ
- イ 豚と犬以外にもいた
- ウ だれもいなかった

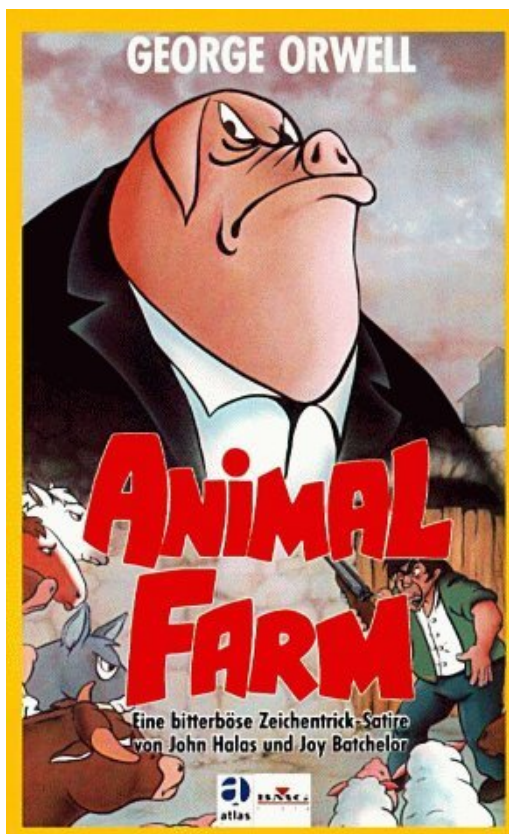
終身労働

何年たっても引退できた動物はいませんでした。年金生活の話も、いつしかなくなっていました。そして、動物たちは死ぬまで働き続けたのです。

風車は完成したものの、それは製粉に利用されて莫大な利益を生んでいました。動物たちは二基目の風車建設に取りかかっていましたが、それも「電灯やお湯のある生活」のためではありませんでした。ナポレオンは、「そのような考えは、動物主義の原則に反する」として「真の幸福は、勤勉に働き、質素な生活を送ることにある」と説いたのです。

動物たちの暮らしが少しも良くならないのに、なんら生産に携わることのないのに食欲だけ旺盛な豚と犬の数だけが増え続けていました。

しかし、動物たちは希望を捨てませんでした。それどころか「人間を駆逐した動物農場の一員である」ということに、誇りを抱き続けたのです。



【問題】

ある日、動物たちは豚たちが皆、二本足で歩いているのを見て仰天しました。ナポレオンなどは、前足に鞭を持って歩いていたのです。

さて動物たちは、すぐにどうしたと思いますか。

予想

- ア 反乱を起こした
- イ 「二本足は悪い」と抗議した
- ウ 「七戒」を確かめに行った
- エ なにもしなかった



二本足は

動物主義の最も基本原則が「二本足は悪い，四本足はよい」だったはずです。ですから「犬が恐ろしいし，どんなことが起ころうと，決して不平は言わない」という習慣が長年染みついてきた動物たちですら，何か言いたくなりました。

そのとき，羊たちが，みんなそろって，いきなり「四本足はよい，二本足はもっと良い」とシュピレヒコールを始めました。動物たちは，もう抗議する気もなくなりましたが，「七戒」を確かめるために納屋に向かいました。

【問題】

納屋の「七戒」は，どうなっていたと思いますか。

予想

- ア すべてなくなっていた
- イ 違うものになっていた
- ウ 「七戒は豚と犬には適用されない」とあった
- エ そのほか

一戒

納屋には、たったひとつの戒律しか書いてありませんでした。

それは、

すべての動物は・平等である。

しかし・ある動物は・ほかのものより先・

もっと平等である。

そして、その日から、豚は作業の監督に鞭を使うようになりました。また豚たちは、電話を引いたり、雑誌を読んだり、パイプもくわえました。ナポレオンは、ジョーンズの服を着始めました。

それから一週間後、ビルキントンたちが農場の視察に来て、ナポレオンたちと歓談しました。ビルキントンは、「かつて、この農場の存在が自分たちの農場に悪い影響を与えるのではないかと危惧していたこと」を謝罪し、「この農場は、すべての農場主にとって模範となる」と称賛しました。「ここでは、下層動物たちが、より少ない配給で、より長時間働いており、甘やかしなど一切ない厳しさ」というわけです。

【問題】

ビルキントンの称賛を得て、ナポレオンは動物農場の改革を提示しました。その内容は、どんなものだったと思いますか。

予想

ア 「荘園農場」と改称

イ 人間を雇うことの発表

ウ ほかの農場の管理を請け負うこと

エ そのほか

莊園農場

ナポレオンは、まず「同志と呼び合う習慣の廃止」「農場旗を緑の単色にする」と述べ、さらに「正当なる本来の呼称として、莊園農場 に改称する」と発表し、人間たちから絶賛されました。

【問題】

やがてナポレオンとビルキントンは、いかさまポーカーをめぐる大げんかを始めました。動物たちは、窓からその様子をのぞいて、とても驚いたことがひとつありました。それはなんだったと思いますか。

予想

- ア 豚のほうが人間よりも強かったこと
- イ ケンカでは人間が圧倒的に強かったこと
- ウ どちらが豚でどちらが人間か区別がつかなかったこと
- エ そのほか



革命の変質と終焉

ケンカの様子をながめている動物たちには、どちらが人間で、どちらが豚なのか、もうさっぱり区別がつかなくなっていたのでありました。



おしまい

おわりに

ノーム・チョムスキーは、よくジョージ・オーウェルの小説の世界を引き合いに出して、政治や経済の問題を論じます。オーウェルの、管理主義社会を皮肉った『1984年』は有名ですが、ソ連を皮肉った『動物農園』というのは、ボクは知りませんでした。そこで、読んでみると、これがとてもおもしろいのでした。

オーウェルは「ロシア革命のあと、権力者が変質し、いかに大衆操作を行っているか」を「おとぎ話」として書いたのですが、「おとぎ話」であるからこそ、この話がソ連だけのことではないことが、より鮮明になっています。動物たちは、独裁者のナポレオンを圧倒的に支持しているのです。それは、ナチスでもイラクでも同じ事でしたし、また現在でもそうなのかも知れません。

では、どうして大衆は独裁者を支持するのでしょうか。おそら



く人間というものは、食べていけるのであれば、正義を求めめるのです。動物農場の動物たちも「革命で人間を追放した」という誇りで生きているのです。正義は素晴らしいものです。そして、だからこそ、正義は怖いのです。正義が怖いのは、相手の正義だけではなく、自分の正義も怖いのです。

だから学ぶことが大切なのです。それは間違いなく教育の問題です。一部の指導者だけが

不十分に学んで、多くの大衆が全く学ばないのであれば、それは衆愚政治へと陥るのです。ボクサーのような正直者が馬鹿を見る社会であっては、ならないのです。

どうも『わが闘争』からの流れで、どうしても『動物農場』を紹介したくて、このようなレポートを書いてしまいました。このレポートでは、あらすじだけの紹介にとどめていますので、ぜひもとの本もお読みくださるようお願いいたします。容易に手に入るものは以下の通りです。

また、ボクは、「ぜひともこの話を映画化して欲しい」と思ったのですが、日本では現在入手不能です。学校祭の劇にもオススメです。米国で発売されている DVD には「保護者同伴」の指定がついていますが、これはどういうことでしょうか。見てみたいものです。原著も、「七戒」の改変など、英語ならではの面白さもありますので、そちらもぜひお楽しみください。

- ・ ジョージ=オーウェル 著, 高島 文夫 訳『動物農場』角川文庫, 1995 このレポートはこの本よりのもの。
- ・ 川端 康雄 『動物農場 ことば・政治・歌 理想の教室』みすず書房, 2005 原著の英文の面白さなども紹介。こちらの訳の方がもかなり短い。
- ・ ジョージ=オーウェル, 斎藤 兆史 『動物農場 原書で楽しむ英米文学シリーズ』ICG ミューズ出版, 2001 日本語解説付き



丸山秀一

kasetsu.maruyama@nifty.com